

2021/6/11-2

(オマケの英語教室「今あるものを使おう」シリーズ rotation) 書庫版



今日はちょっと、思いつくままに連想ゲーム的に進めたいと思います。

暫く前の記事で「働き方改革」に做った当店外国人従業員の週休二日制導入に伴い「ローテーション」の関係から、パートさんを新たに一人雇わなくてはならなくなった、というお話をしましたが、今日はその「rotation (ローテーション)」に関して。

我が国ではローテーションというと人事関係での「移動」やパートタイム勤務での「シフト表」などが思い浮かびます。

一方、自分の経験を紐解くと、ある時自分の料理の師匠であるネパールボスのお店でスマホでネット閲覧するのにWiFiの電波を拾えないで居ると、ボスが

「rotate your mobile phone this way, that way, several ways」
「じつじつ」

といいました。

要するに

「スマホの向きをあちこち変えてみてください」

と。

それで「rotate」という単語が向きを変える、とか回転させるという意味だという事が分かりました。そしてその時、連想的に思い浮かんだのが「rotation」

「rotation っえ、rotate (物事を上手く回す) の名詞形なのかぁ」
と。

そしてそこから又々思い浮かんだのが

「そういうえば、会社員時代にうつ病だった頃「こんな奴、役にたたんわ」とあちこち職場を「たらい回しにされた」なァ。人事育成制度 (carrier development program=CDP) での移動と役立たずの移動。「育成」と「たらい回し」もつと言うと「お払い箱」

大変な違いだが、名目上はいつもCDPだったなァ」

ところで「たらい回し」って英語で言うと「rotate inside the wash bowl」とでもいうのでし
ようかねえ。

英語で単語を覚える（よりの確に言うと、知っている単語を生き返らせる）のにとっても有効
なのは、こういった連想ゲームと、連想ゲームを上手く使った「単語に印象や感想をもたせ
たり、自分なりのストーリーを与えたりして一緒に覚える」事なのではないかな？と思って
おります。

多少面倒ですが、話題の持ち駒は豊富になるし、身近に感じられる、つまり使える（コント
ロールし易い）語彙も増えるので一石二鳥ではないでしょうか。